



学校法人 東北文化学園大学 第九コンサート  
実施報告

1. 実施日 平成 30 年 12 月 2 日 (日) 15:00 開演 (14:00 開場)
2. 場 所 仙台銀行ホール イズミティ 21 (〒981-3133 仙台市泉区泉中央 2-18-1)
3. 来場者数 879 名
4. 主 催 学校法人 東北文化学園大学
5. 助 成 2018 年度後期「心の復興音楽基金」  
(順不同) 第 7 回ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞  
平成 30 年度 宮城県文化芸術の力による心の復興支援助成金事業
6. 後 援 公益財団法人宮城県文化振興財団、宮城県、宮城県教育委員会、  
(順不同) 仙台市、仙台市教育委員会、河北新報社、NHK 仙台放送局、仙台放送、  
TBC 東北放送、KHB 東日本放送、ミヤギテレビ、  
東北文化学園大学同窓会、東北文化学園専門学校同窓会
7. 協 賛 東通インテグレート株式会社、キャノンシステムアンドサポート株式会社、  
(順不同) 熱研プラント工業株式会社、株式会社スティック、有限会社ワードシステム、  
株式会社共立メンテナンス、株式会社学生情報センター、イシイ株式会社、  
日本国土開発株式会社 東北支店、株式会社サンテック東北支店、  
株式会社紀伊国屋書店仙台営業所、株式会社広瀬組、マルホン株式会社
8. 演奏曲目 ウェーバー 歌劇「オベロン」序曲  
ベートーヴェン 交響曲第 9 番作品 125 ニ短調「合唱付」
9. 出演者 指 揮 ケン・シェ  
管 弦 楽 仙台フィルハーモニー管弦楽団  
ソ リ ス ト ソ プ ラ ノ 工藤 あかね  
メゾソプラノ 加賀 ひとみ  
テ ノ ー ル 五十嵐 修  
バ リ ト ン 小森 輝彦  
合 唱 東北文化学園混声合唱団、東北大学混声合唱団、  
岩手大学合唱団、仙台宗教音楽合唱団、  
熊友会ヴォーカル・アンサンブル、山響アマデウスコア、  
盛岡バッハ・カンタータ・フェライン

10. 合唱指導 佐々木 正利、五十嵐 修、真下 祐子  
11. 練習ピアニスト 高塚 美奈子、高橋 麻子、石垣 弘子  
12. ロゴマーク プログラム等に掲載した2種類のロゴマークについては、認証をいただき使用いたしました。それぞれの説明は下記の通りです。

① DAIKU2018

本年 2018 年が日本での第九初演から 100 周年となることを記念し、日本・ドイツの各地で行われる関連行事を外務省が DAIKU2018 として記念事業認定している。

② beyond2020

多様性・国際性に配慮した文化活動・事業を政府が認証し、日本文化の魅力を国内外に発信する取組。

13. 内 容

< 東北文化学園大学の「第九」について >

本学では、東日本大震災の犠牲者への追悼、被災地の復興と新生に対する精神的支援として、芸術文化を通じた取組を進めております。

●全学で取組む「心の震災復興支援」

2011年3月の東日本大震災により東北地方は大きな被害をもたらしました。本学では、近隣住民への直接的な給水支援などを実施するなど、地道な支援事業を展開しました。一方で物質や言葉では補えない『心の復興支援』のあり方を探る中で、国際的な指揮者篠崎靖男氏の被災地へ音楽を届けたいという熱き想いが一致し、2011年の12月16日(金)に岩手県大船渡市民文化会館、17日(土)には本学キャンパス体育館にて、初めてベートーヴェンの「交響曲第9番」の演奏会が実現しました。以来、毎年開催し8回目を迎えています。

●「教養教育の柱」としての位置づけ

2012年度からは「特色ある教育」として、全学生が参加できるように教養教育として、第九コンサートへの参加を「学修カリキュラム」に組み込みました。音楽経験の有無に関わらず意欲のある学生は誰でも、第一線で活躍する音楽家達から指導を受け、一流の音楽家と同じ舞台に立てる環境を整えました。歌詞に込められた“生の喜び”を理解し、地域の方々と共に歌い上げることで、本学の建学の精神『輝ける者』を目指す教育プログラムとして中心的な役割を担うまでとなっています。

●「地域をつなぐ文化拠点」としての役割

一流のオーケストラ、そして他大学（東北大学、岩手大学等）の合唱団、各地元合唱団の方々の協力を得て、本事業は地域の人々を束ねた文化活動としての役割を担ってきました。この活動の主旨と演奏の質に賛同をいただき、東北の未来を担う若者から高齢者まで幅広い方々がこのコンサートに会場し、今では市民の間に確実に根付き始めています。また2018年度には社会福祉協議会、行政、町内会等の関係機関と連携して、仮設住宅や復興住宅の方々に招待券を優先的に配布しました。心の復興は道中半であり、今後も音楽の力が震災復興の心の活力となるよう継続することとしています。

< 実施にむけて ～学生の様子～ >

音楽大学ではない本学の学生たちが4月に集結し、毎週1回の合唱練習を重ね、約8か月で本番の舞台へ立ちます。



← 平成30年4月9日(月)初回授業:ガイダンス  
合唱部だった、先生に勧められた、本学でしかできないことにチャレンジしたいなど、様々な動機の学生が集まりました。

平成29年度の第九コンサートのDVDを見たり、履修学生の感想を聞いたり、先生方より第九に関してご教授いただきました。

平成30年5月7日(月)4回目授業 →

2回目の授業より男女別の練習が始まります。ほぼ全員が初めて見るドイツ語の歌詞や、音階の複雑さに不安げでした。しかし、先生方が発音や発声の仕方、楽譜の見方など基本的な内容を、丁寧にご指導くださいます。

上達を実感し始める7月頃からは、楽しみながら取り組む様子が見られました。



平成30年度は前期16回、後期19回の授業を実施しました。

その過程には、通常授業の他に、10月末頃より木曜日の夕方に行う、合同練習が含まれています。佐々木正利先生をお招きし、東北大学混声合唱団・仙台宗教音楽合唱団の方々で行なう練習は、学生たちに良い刺激を与えてくれました。いつもとは違う緊張感の中で行う4回の合同練習で、学生たちは飛躍的な上達を遂げました。



11月30日（金）指揮者ケン・シェ氏をお迎えし、学内の学生食堂で練習を行いました。



12月1日（土）会場の仙台銀行ホール イズミティ 21にてリハーサルを実施。仙台フィルハーモニー管弦楽団との練習に学生も感激していました。

今年は本学合唱団 42 名、東北大学混声合唱団 9 名、岩手大学合唱団 26 名、仙台宗教音楽合唱団 39 名、熊友会ヴォーカル・アンサンブル 13 名、盛岡バッハ・カンタータ・フェライン 13 名、山響アマデウスコア 16 名、総勢 158 名の合唱団を結成しました。



### < 実施にむけて ～お客様の様子～ >

仙台市内の各ホールに設置したチラシ・ポスター、新聞〔10月8日(祝・月)の河北新報広告欄〕掲載が主な周知方法でした。今年度の応募総数（葉書）は 1,443 通でした。毎年、本学のコンサートを楽しみにしておられる方も多く、地域に根付き始めていることを実感いたしました。



東北文化学園大学・東北文化学園専門学校・熊友会愛幼稚園・盛岡久慈幼稚園

▲新聞に掲載した広告  
(平成 30 年 10 月 8 日河北新報)



▲チラシ（表面）



▲チラシ（裏面）

12月2日（日）コンサートを心待ちにしたお客様が開場の1時間以上前から待ってくださり、来場者数は879名でした。震災復興ボランティア訪問先等の協力を得て、優先的に東松島市と名取市(愛島・箱塚)へ鑑賞券を配布しており、今回は7名の方がお越しく下さいました。さらに今年度から、仙台市の協力も得て公営復興住宅の方々にも配布し、32名の方にお越しいただきました。



演奏後のアンケート(533枚)には、演奏と合唱に大きな感動を覚えた、気持ちが落ち着いた等の記載がありました。※自由記述欄を、一部引用。

\*\*\*\*\*

・津波で楽器流され現在大正琴を楽しんでおります。第九コンサートに初めて参りました。(中略) 3.11で現在復興住宅に住んでおり(中略)来てよかったです。クラシックの音楽は中々聞く機会がなく大変良かったです。素晴らしい演奏でした。とても感激しました。心がゆたかになりました。

・演奏素晴らしいです。心しみ、豊かな気分になりました。素晴らしい企画です。大震災の痛みを忘れず人生を前向きに楽しんで生きたい。(後略)

・大変感動致しました。ありがとうございました。被災者なので心より感謝申し上げます。また来年お逢いしたいです。何より元気で！

\*\*\*\*\*

学生の学習成果の発表であることはもとより、他合唱団等と連携し文化活動に取組み、心の復興の一助になる活動となりました。今後も復興と発展、音楽の力が心の活力となるよう、第九コンサートを継続することとしています。



平成 30 年 12 月 2 日 (日) 学校法人 東北文化学園大学「第九コンサート」  
《 ステージ写真 》



演奏：仙台フィルハーモニー管弦楽団

14. 添付資料

- ・第九コンサートチラシ
- ・第九コンサートプログラム
- ・第九コンサート写真
- ・第九コンサート DVD

《 お問合せ先 》

〒981-8851

仙台市青葉区国見六丁目 45 番 1 号

学校法人 東北文化学園大学

教育支援センター 主任：関本 映美

Tel：022-207-0600

E-mail：sekimoto@office.tbgu.ac.jp

15. 経費報告

交通費 ￥124,040 … ①

指揮者・ソリスト (3名)、合唱指導者 (2名)：計6名分

- ・東京⇄仙台 ￥11,200 (片道) ×2×4名分 = 89,600
- ・東京⇄仙台 ￥10,750 (片道) ×2×1名分 = 21,500
- ・盛岡⇄仙台 ￥6,470 (片道) ×2×1名分 = 12,940

宿泊費 ￥228,000 … ②

指揮者・ソリスト (3名)、合唱指導者 (3名)：計7名分

- ・￥12,000×4泊×2名=96,000：合唱指導者2名 (11/29直前練習～12/2)
- ・￥12,000×3泊×2名=72,000：指揮者、合唱指導者1名 (11/30マエストロ練習～12/2)
- ・￥12,000×2泊×2名=48,000：ソリスト2名 (12/1リハーサル～12/2)
- ・￥12,000×1泊×1名=12,000：ソリスト1名 (12/1のみ)

練習時の (レンタル) ピアノの調律 ￥20,000 … ③

①～③合計金額 ￥372,040 (うち支援申請額 ￥300,000)

以上